

慮なる宣戦に對して、黙殺論者の甚だしき反対の
と、林等が極力諒解の正四面突を提唱した。

是れ林等の意思に述言したる見解の上に立ちての
当然の行動である。而して結局に於ては、林等の計り
き行動が最も有意味の結果と云ふに到つたこと
當時の状況に鑑みては自ずから事證であつた。(大正十
一年三月雜誌「労働者」参照)

之は換言すれば、林等の主張見解に對する最も有
力なる意者である、果敢之を排斥し、結果一筋の潔癖
的改造論者の間に、現実問題に視野を転ずる者多
きを加へ、後日の政治的方向轉換の素因を以て作
つた。

政治的方向轉換とは、社會進化途上に於ける重
要なる役割を政治構成の部分に置き、之れを民衆の
掌裡に移すために平等の政治行動の間に漸次地
歩を拓きしやうとする意味である。これ又一面に
大衆の向行の人とする一異路である、鉄線拡充の
為めにも、内政運動の爲めにも、頼るゆゑ方をとてあ
り、又くとも、改造運動史上に於ける劃紀的進歩と
謂ふべきものである。

既に民衆運動の主流は斯くして、林等の信ずる所
と大差なきに至つた。事茲に及ばば、林等の與る政
動からざるものあり、事月事會であるが、林等は今これ
を誇りんとするものでない、却つて、け潮流に乗じて、